

第12回通常総会次第

1. 開会の言葉(司会)小林氏
2. 挨拶 (理事長)稲岡理事長
3. 議長選出 (司会)小林氏
4. 議事録署名人及び書記選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
 - 第一号議案 平成30年度事業報告および決算報告について
 - 事業報告(稲岡理事長)
 - 決算報告(中井理事)
 - 監査報告(高橋悦夫監事)
 - 第二号議案 令和元年度事業計画並びに収支予算について
 - 事業計画(稲岡理事長)
 - 収支予算(中井理事)
7. 閉会宣言
8. 連絡報告事項
9. 閉会の言葉(司会)

— 総会終了後、親睦会会場(源輝家)に移動 —

平成 30 度事業報告書 平成 30 年6月1日から令和元年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

NPO法人として10年が経過し、継続して会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ 414 名	241 名	463 千円
事業内容	【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	【内容】 現在、たけのこ畑と放置竹林合わせて 18.6千㎡を管理。 放置竹林の枯れ竹処理と定期的の間伐作業を実施。 1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 維持管理を始めてから10年となり竹林として景観を維持ができています。定期的 に枯れ竹の間伐と竹の焼却で維持管理実施。今年は台風の当たり年で大量の折 れた竹の処理を実施。たけのこ畑の作業の合間を見て処理。間伐も出来ているの で作業効率は大幅に改善された。ここにはキツネの住家があり、子キツネの姿を 見る事ができた。間伐にも注意を払っている。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。今期は北斜面 の竹の伐採と隣の長法稲荷神社のケヤキと北山杉の枝を処理し景観の改善を図 りました。 3. こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、枯れ竹の搬出と、一部の伐採竹の焼却作業を実施。 京都府緑化推進事業の補助金で作業性アップと高齢者対策としてコンボで作業 道の追加と竹林内に焼却用の穴を増設した。さらに景観の改善のため道路側には いろはもみじを20本植樹し景観改善を実施した。 毎年、茨木高校生が体育祭に竹材利用と作業応援に来ていただき、双方にプ ラスとなった。枯れ竹の処理は終わり、定期的に青竹の間伐をしている。今年度は 台風の影響で倒れた竹の作業が大幅に増加。三菱電機労組の応援を2回/年とマツ シマホールディングスの企業に4回応援に入って頂いたため、作業が大幅に進ん だ。 4. 金ヶ原竹林～面積1.6千㎡ 金ヶ原竹林は現在十分な作業が出来ていない。台風により隣接に倒れた竹の 処理を実施。さらに枯れ竹の搬出と一部はチップー導入して枝葉の処理を実施し た。来期は青竹の伐採と枝葉をチップーを利用し、処理量を増やしたい。			
【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積12.6千㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化に貢献。 近年は女性会員が増えているが、作業者の高齢化が進んでいる。活動を継続するため、さ らに会員を増やし若返りを図っていくことが急務である。 長岡京市、学校、地域の協賛でボランティアは継続してゆくが、良い策を講じなければ放 置竹林が加速度的に増加する。行政の力を借りたい。				

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ414名	企業・学校 241名	20千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 竹の利用用途拡大検討として、竹パウダーを製作したが、コストが課題で売れ行きが悪かった。竹炭を有機農法に試行し無償で使用して戴く。 マーケットの拡大が急務。</p> <p>① 茨木高校へ青竹提供(7月12日) 体育祭用に青竹4m×200本、真竹4m×18本を提供。 こらさ竹林から竹材を伐採・提供した。 共同で、間伐・伐採竹の搬送を実施、学生に放置竹林の現状を理解してもらう。</p> <p>② 京の七夕用に竹と笹を提供(8月上旬) 竹の提供により、京都の竹に関心をもって頂けた。 新町商店街竹 2m×10本、笹 1m×20本 三条名店街 笹 1m×80本 夷川会 竹 2m×5本、笹 1.2m×25本 その他の七夕用として マムフローラ(介護老人保健施設)、寺戸中学(向日市)、太鼓山自治会に少量提供</p> <p>③ JAに竹チップ用に竹提供(1月下旬) ドンボ(親竹伐採)を軽トラ6杯提供した。 竹チップの売れ行き悪く引き取りに制限が掛かり軽トラ3杯となり、竹の処理ができず、焼却処分に回した。</p> <p>④ 竹炭と竹チップを有機農業提供 野焼きで製作した竹炭を農家4軒に提供。 石田ファーム 軽トラ2台分 河村ファーム 軽トラ2台分と竹チップ軽トラ1台分 もねこファーム 軽トラ1台分</p> <p>⑤ わら抑え竹(農業用)に提供 杉原ファーム 半割り竹2.2m×40本</p> <p>⑥ 建材用として竹提供 中西様 竹 1.5m×15本、竹 1.8m×10本</p> <p>その他、京都市内の起業家の若者グループに、そうめん流し用に1件提供。</p> <p>【活動の成果と課題】 今期も農業の竹炭、わら抑え用に竹使用の継続を予定。竹チップを製作したが、コスト的に合わず採用がなかった。竹チップはたけのこ畑に戻す方向で利用を進める。 枯れ竹を、燃料に使うお風呂、発電、暖房等への利用を広めたい。協力団体として、長岡京市、龍谷大学と検討を進めて行きたい。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 および明神前竹林	601人	102名 (エコグループ)	544千円
事業内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 対象はタケノコ畑の管理竹林の長法寺 A 竹林～面積 4 千㎡と明神前竹林～2 千㎡一連の作業（新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ）を実施。 今年度は台風の被害もあり、超不作年ということだったが、A 竹林は一昨年と同等の収穫で、新しい明神前竹林も品質は落ちるが A 竹林の半分の収穫を得た。 収穫したタケノコ（約 1,800kg）は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p>（主な共同作業）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 5月 先止め、お礼肥～タケノコ掘りが終わったあと ② 7月 下草刈 ③ 8月 サバエ刈り ④ 9月 親竹の更新 ⑤ 10月 稲わら収集～長岡京市内（今期より）・法隆寺方面で出張 ⑥ 11月 施肥・ワラ敷き ⑦ 12月 土入れ～バックフォー、運搬車投入（2日間） <p>【活動の成果と課題】 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年同様に安価でタケノコを頒布出来た。 年々高齢化していく中での作業（土入れの運搬作業）の負担の対策として、今年も A 竹林は土入れ作業にバックフォーを2日間投入して、1日作業を2日作業にすることで作業密度を下げ、無事年内に終了することが出来た。</p> <p>○明神前竹林について 今期は、明神前竹林（面積 2.0 千㎡）をタケノコ畑として管理。 一昨年までタケノコ畑として維持管理されていただけあり、タケノコの出る量が放置竹林とは比較にならないことを体験したため、後手に回らないよう掘り手を分担して対応した。 今期は A 竹林のタケノコが出るのが遅く、量も裏（不作）年であったため、掘り手に少し余裕があったので、掘り手は不足にはならず、不足する頒布量の補充ができた。</p> <p>来期は、豊作年となるため掘り手不足が予想される。 明神前竹林のサバエの多いタケノコ畑の範囲を減らして、作業量を減らす予定。あわせて、この竹林は陽当たりが良く、1週間位 A 竹林より早く収穫できそうなので、この時差を使い、掘り手をずらした配置をしたり、エコツアーの受け入れ時間を1時間遅くして会員の掘り時間を増やすこと等も検討する。</p> <p>また、肥料投入量を倍増して、タケノコの品質アップを図っていく。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約400人	展示会に来場の 一般の市民 約1000人	10千円
事業 内 容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、会員勧誘活動につなげていく。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種地域活動への参加、イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・06/02 (土) 京都市内の起業家の若者グループに流しソーメン用竹材提供～A竹林 ・06/04 (月) ・11/07 (水) ・11/10 (土) ・12/01 (土) NHK プレミアム「ニッポンの里山」撮影協力～前期4月から継続 A竹林、B竹林等で竹林年間作業を撮影～2019/3/13 放映済 ・06/09 (土) 舞鶴市の放置竹林対策の協議会で「放置竹林整備について」講演 (まいつる竹林整備・竹活用ネットワーク協議会 第5回総会) ・06/18 (月) 銀化俳句会の主宰・中原道夫氏に竹林案内(キヌガサダケ観賞) ・07/04 (水) 竹銀化俳句会の会員、竹林整備ボランティア参加受け入れ～こらさ竹林 ・07/15 (日) 第1回竹セミナー出席(中央公民館) ・08/17 (金) 太鼓山子ども会へ竹材提供～こらさ竹林 ・09/29 (土) サポセンフェスティバルに参加予定であったが中止 「竹あかり」用に竹灯籠、竹プランター、竹林からの贈り物等を準備 ・11/08 (水) 長岡中学1学年の竹の総合学習講師～長岡中学 ・11/17 (土) 第10回環境フェア出展～中央公民館 「竹カフェ」と共同出店、活動パネル・竹あんどん展示 ・12/01 (土) FMおとくに放送開局行事に出展～バンビオ広場 「竹あかり」用に竹灯籠、竹プランター、竹林からの贈り物等を準備 ・02/05 (水) 京大学院生見学～A竹林 ・02/07 (水) 長法稲荷神社初午祭礼参列～長法稲荷 ・02/16 (土) 西山ファミリー環境探検隊へ応援～西山公園 ・03/02 (土) 長岡京市森林ボランティア養成講座受入～こらさ&こらさ竹林 こらさ竹林で伐採実習～03/07 京都TV「newsフェイス」放映済 ・03/18 (月) 緑化推進支援金活動報告～府林務事務所 ・03/20 (水) ・03/29 (水) ・04/10 (水) 朝日新聞のタケノコ取材対応 ～04/04 (木) 朝日新聞夕刊「まだまだ勝手に関西遺産・京タケノコ」 ・04/18 (木) 龍谷大学深尾ゼミとの意見交換～こらさ事務所 ・04/22 (月) 神足小学校へタケノコ提供 ・04/26 (金) せきゅりてい・ぶらんけっと園児受け入れ～A竹林 ・04/26 (金) せきゅりてい・ぶらんけっと、子ども食堂へタケノコ提供～A竹林 <p>【活動の成果と課題】 竹行灯作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会への期待度も高いので、竹あかり・環境フェアへの参加を継続する。 今年もインターネットを通じて広報活動が実ってきたことと、会員皆様の勧誘により2名の会員が増えた。 これからも、広報の重点を会員募集に置くようにしていく。</p>			

平成30年度(2018) 活動計算書

平成30年6月1日から令和元年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位:円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	32,000		
入会金	2,000	34,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	140,000	140,000	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	199,721		
京都乙訓緑化推進事業助成金	291,936	491,657	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	342,900		
発送料、箱代	143,500		
工口頒布料	93,600		
入山協力金	34,000	614,000	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業	26,000	26,000	
(4) 地域活動			
竹材提供協力金	23,100		
協賛協力金	0	23,100	
5. その他収益			
雑収入	6,803	6,803	
経常収益計			1,335,560
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	26,667		
委託料	277,150		
材料費	138,569		
消耗備品	258,091		
補修費	41,213		
交通費	17,020		
労務費	49,967		
車両費	40,000		
消耗品費	88,874		
雑費	6,447		
その他経費計	943,998	943,998	
事業費計			
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	90,000		
宣伝広告費	12,960		
水道光熱費	2,000		
通信費	4,340		
福利厚生	17,000		
租税公課	200		
交通費	122,510		
印刷費	3,893		
交際費	13,836		
事務費	4,893		
雑費	27,941		
会議費	773		
その他経費計	300,346	300,346	
管理費計			
経常費用計			1,244,344
当期正味財産増減額			91,216
前期繰越正味財産額			677,332
次期繰越正味財産額			768,548

平成30年度 貸借対照表

令和元年5月31日現在

特定非営利活動法人 竹の学校
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	768,548		
流動資産合計		768,548	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			768,548
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		677,332	
当期正味財産増減額		91,216	
正味財産合計			768,548
負債及び正味財産合計			768,548

本書は当法人の貸借対照表に相違ありません

特定非営利活動法人 竹の学校

理事長 稲岡 利春



2018年度(平成30年) 財産目録

2019年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位：円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	23,196		
普通預金			
ゆうちょ銀行	77,963		
京都銀行	613,539		
JAバンク	53,850		
流動資産合計		768,548	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			768,548
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			768,548

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成30年6月1日から令和元年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。


監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び活動計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び活動計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

高橋悦夫  印

監事

高橋治女  印

令和元年度（令和元年6月～令和2年5月）事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

実施時期・目標

- | | | |
|---|-----------------|-----------|
| 1) 放置竹林整備作業 | | |
| ① 長法寺A竹林 | タケノコ栽培・・・3) 項参照 | 通年作業による |
| ② 明神前竹林 | タケノコ栽培・・・3) 項参照 | ①より10日先行 |
| ③ 長法寺B/C竹林 | 間伐作業 | 奇数月 第4(土) |
| ④ 金ヶ原竹林 | 伐採作業・伐採竹搬出 | 偶数月 第4(土) |
| ⑤ こらさ竹林 | 伐採作業・伐採竹搬出 | 毎月 第2(土) |
| 2) 竹材の有効利用 (4.5.11.12月以外) | | |
| ① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討 | | 10月・2月 |
| ② 伐採竹で竹工芸・竹細工 | | 毎月第1・3(土) |
| ③ 現在の伐採竹提供先の継続 | | |
| 茨木高校生の竹取り対応 | | 6月 |
| 京の七夕・地域の七夕用竹材供給 | | 7月 |
| 夏の流しソーメン用竹材供給 | | 7～9月 |
| ④ 伐採竹の新たな活用先(竹枝・穂先供給)の開拓 | | 9・10月 |
| 3) 京たけのこの生産と技術継承(長法寺A竹林、明神前竹林) | | |
| ① 京都式軟化栽培法の継承 | | |
| 新竹心止め | 5月 | 下草刈り 7月 |
| 施肥 | 6・11月 | 間伐 9～10月 |
| 藁敷き | 11月 | 土入れ 12月 |
| ② 土入れに新運搬車とバックホウ投入
(高齢化対策のための機械化の推進) | | 12月 |
| ③ 改良施肥方法の継続(効果改良・作業軽減) | | 6・11月 |
| 施肥 従来3回→2回(明神前竹林は3回) | | |
| 4) 地域活動・支援活動 | | |
| ① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 | | 4・5月 |
| 間伐作業の体験 | | 9～10月 |
| ② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化 | | 2回(春・秋) |
| ③ 竹工芸品(主に竹行灯)の展示による広報活動 | | 3回 |
| 名月の宴、サポセンフェスタ(夜の部)と環境フェア | | |
| ④ 名月の宴、サポセンフェスタ準備 | | 9月 |
| 竹材確保と竹灯籠づくり | | |
| ⑤ 他グループとの協業・見学受け入れ | | 3団体程度 |
| ⑥ 京の七夕に協賛 | | 7月 |

以上

2019年度(令和元年) 活動予算書

2019年6月1日から2020年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額 (単位：円)	
I 経常収益		
1. 会費		
正会員受取会費	30,000	
入会金	3,000	33,000
2. 寄付金		
受取寄付金	20,000	20,000
3. 受取助成金		
長岡京水資源対策基金	199,780	199,780
4. 事業収益		
(1) 筍栽培事業		
会員筍頒布料	350,000	
送料、箱代	150,000	
工口頒布料	120,000	
入山協力金	40,000	660,000
(2) 放置竹林整備事業	0	0
(3) 竹材有効活用事業	30,000	30,000
(4) 地域活動		
竹材提供協力金	30,000	
協賛協力金	5,000	35,000
5. その他収益		
雑収入	2,000	2,000
経常収益計		979,780
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	0
(2) その他経費		
賃借料	30,000	
委託料	210,000	
材料費	100,000	
消耗備品	135,000	
補修費	50,000	
交通費	10,000	
労務費	40,000	
車両費	40,000	
消耗品費	70,000	
雑費	10,000	
その他経費計	695,000	
事業費計		695,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	108,000	
宣伝広告費	113,000	
水道光熱費	2,000	
通信費	4,000	
福利厚生	17,000	
租税公課	0	
交通費	100,000	
印刷費	5,000	
交際費	10,000	
事務費	8,000	
雑費	20,000	
会議費	3,000	
その他経費計	390,000	
管理費計		390,000
経常費用計		1,085,000
当期正味財産増減額		-105,220
前期繰越正味財産額		768,548
次期繰越正味財産額		663,328

令和元年7月27日
NPO法人 竹の学校

令和元年度作業責任者（案）

1. 京たけのこ生産 担当 野本
頒布 担当 中井
2. 会計 担当 中井
3. 竹林伐採整備 担当 世良田、高橋え、荒木
4. 竹工芸 担当 稲岡と、澤
5. 花壇の維持管理 担当 稲岡き、高橋も
6. 備品管理（物置管理）担当 高橋え、中井
7. 広報
竹林日記 担当 稲岡と、世良田、中井
ホームページ管理・エコツアー受入れ 担当 稲岡と
8. 竹炭作り 担当 高橋え、荒木
9. 竹・木工細工（間伐材活用）担当 荒木、梶原
10. 竹あかり・環境フェア 担当 東、中矢、澤田石
11. 竹の学校イベント・教育 担当 中井、澤田石、西角
12. 外渉窓口 担当 世良田、稲岡と（WEB）

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人も積極的な協力をお願いします。